

一 般 質 問 通 告 表

平成 27 年第 1 回 始 良 市 議 会 定 例 会 (3 月 1 2 日 (木) 午 後 1 時 3 0 分 開 会)

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
1. 森 弘道	1. 国民健康保険事業勘定予算の運営と考え方について	<p>国においては市町村が運営している国民健康保険事業を平成30年度から都道府県へ移管する方向で関連法の改正を目指している。市町村が抱える国保は慢性的な赤字構造であり、県内でも多くの自治体が一般会計からの法定外繰り入れを余儀なくされ、市町村財政を圧迫している。国においては平成29年度に国費から3,400億円(うち消費税分から1,700億円)を支援し、移管したいとの計画であるが、全国知事会では負担の押し付けになるとして、警戒しており、今後の動向が注目される。都道府県に移管しても財政が不安定な原因は残ったままであり、国が安定財源にどう取り組むかが大きな課題である。</p> <p>(1) 平成24年度から26年度までの3年間をベースとして医療費の増加に対応するため、一般会計から毎年1億1千万円繰り入れて事業運営されたが、当初の見込みどおり適正な執行がなされたか問う。(3年間で6億9千万円の財源不足に対する措置、3億3千万円を繰り入れ、3億6千万円を税収で)</p> <p>① 医療費の伸びはどうであったか。</p> <p>② 繰入額は妥当であったか。</p> <p>③ 税収は予定どおり確保されたか。</p> <p>④ 特定検診や保健事業の成果はどうであったか。</p> <p>⑤ 課題としてはどのようなものがあるか。</p>	市長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>(2) 3年間の動向、実績を踏まえて、27年度以降29年度までどのような考え方で事業運営をされるかを問う。</p> <p>(3) 27年度から課の統廃合もなされ、専門のスタッフもそろってスタートするが保健福祉部において新規の健康づくり事業は何か、また、専門の職員数は何人で対応することになるか。今後増員も考えるか。</p> <p>(4) 始良市の国民健康保険税の税率(所得割)は、医療保険分8.40パーセント、後期支援金分2.50パーセント、介護納付金分1.20パーセント、合計12.10パーセントで、1人当たり医療費は392,111円だが、県内市町村の保険税の税率の平均値と一人当たりの医療費はいくらか(平成25年度)。また、本市の26年度の12月までの一人当たりの医療費はいくらか。</p> <p>(5) 医療費増加の縮減対策に取り組む中、医療費が増加すれば再び税率改正に踏み切ることになるのか。ただし、その場合、値上げ幅の二分の一は一般会計から法定外繰入をすることになるのか。 また、他の特別会計で法定外繰入をしている事業があるか。</p> <p>(6) 年間所得が200万円以下の国保世帯は何世帯あるか。また、この世帯の収納状況はどうか。</p> <p>(7) 子ども医療費については、現在小学6年生まで無償化されているが、富裕層、低所得世帯についても同じである。本当に生活に苦慮しておられる世帯の子育て支援は政治の</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 深水、豊留地区を対象とした農業集落排水事業山田二期地区の整備について</p>	<p>根幹をなす血のかよった温もりのある施策と考える。今後、このような所得の低い国保世帯の子どもに対して何らかの支援策を検討し、実施する考えはないか問う。</p> <p>(8) 担税力があるのに滞納がある世帯は何世帯あり、何パーセントを占めるか。また、2割、5割、7割の軽減世帯数を示せ(26年度)。</p> <p>(1) 現在までの進捗状況について示せ。また、地区の受入れ状況、反応はどうか。 27年度はどのようにするのか取組みについて示せ。</p> <p>(2) 問題点、課題についてはどのようなものがあるか。</p> <p>(3) 地区の何パーセント以上の同意があれば事業実施となるか。また、事業費として概算はどのくらいか。個人負担はどのようになるのか。財源内訳についても示せ。</p>	<p>市長</p>
	<p>3. 道路や側溝整備について</p>	<p>(1) スマートインターチェンジ開通に伴う高速北側の既存道路、建昌～楠元線(市道68号)は、高速への利用者も多くなり、交通量が増加すると思うが、側溝の勾配も悪く、流れが悪い。 また、側溝の蓋もなく幅員も狭い。周辺の住民は大変心配をされている。今後の整備計画を問う。</p> <p>(2) 鍋倉の納屋添線(市道179号)の整備について、この道路も幅員が狭く、車の離合もできない。米山薬師や天福寺への観光ルートでもある</p>	<p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>4. 帖佐中学校の生徒増に対する教室不足の解消対策と帖佐グラウンドの駐車場の拡張について</p>	<p>が、排水路に蓋をして幅員を広くできないか、整備について問う。</p> <p>(1) 市内の中学校では生徒数の一番多い学校となった。(22学級760人) 建昌小学校を分離して新設の松原なぎさ小学校も4月に開校されるが、いずれも帖佐中学校区であり、生徒数は今後増加傾向にある。教室不足に対する対策は喫緊の課題だと思いが見解を問う。</p> <p>(2) 学校周辺の道路事情が悪く、住宅に囲まれた状況の実態は把握しているか、またどのように感じているか。</p> <p>(3) 帖佐グラウンドの現在の駐車場はカイツカイブキが大きく生い茂り、見通しも悪く死角となり、犯罪の場所ともなりやすい。整理、撤去して台数を増やす考えはないか問う。</p>	<p>市長 教育委員長</p>
	<p>5. 季節感を味わうことのできる時報(チャイム)の取組みについて</p>	<p>音楽は聞く人の心を捉え、心をなごませたり、豊かにする特別な要素をもっている。春夏秋冬の季節感を味わうことのできるメロディーはふるさとへの愛着、郷愁を誘い、また、一日の仕事を終えての感謝の気持ち、未来への希望や明日への勇気を与えるなどそれぞれに果たす役割は無限にある。正午の時報や午後5時、6時の時報について今後実施する考えはないか問う(合併5周年を機に)。</p>	<p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 堂森 忠夫	1. 地方創生について	<p>(1) 加治木駅周辺の再開発と整備を図り、快適で暮らしやすく元気の出るまちづくりを目指し、営林署跡地を都会の企業に払い下げを公募し、民間力を活かした雇用創出に取り組めないか問う。</p> <p>(2) 新たな物産館計画の進捗状況を問う。計画中の物産館は各団体（産学官民地銀球）をコラボし連携・協働して、新たな地方創生に繋がる運営を図り反映させ、国際的な次世代育成や雇用創出を生み出す、内需拡大に努められないか市長の見解を問う。</p> <p>(3) 旧・始良警察署の跡地活用陳情の進捗状況は、どのような状態か。地方創生事業として早期活用に努められないか、市長の見解を問う。</p> <p>(4) 各建設現場で発生する残土を最大に活かし、官民一体となり地方創生事業と連携し再開発事業を長期計画で取り組み、山の谷間などの埋め立て地の開発に努められないか。 さらに、今後の市計画予定工事において残土処分量はどれぐらいになるか。また、市民からの残土処理場に対する苦情処理への対応は、どのような状況か。</p>	市長
	2. スポーツ振興について	<p>(1) 豊かな人間性を育むスポーツの振興を図るために、各競技者の質の向上と努力を讃美できる表彰規定等を早急に整備し、さらには、九州大会以上の大会出場団体や個人への助</p>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>成金の基準等を定めて、スポーツへの参加意欲を高めるなどの育成に努められないか問う。</p> <p>(2) 小規模校の体育施設を活用し、最低でも一競技を集中的に競技が可能な競技力向上の運営を図れないか。また、スポーツ特区としての人材育成に努められないか問う。</p>	